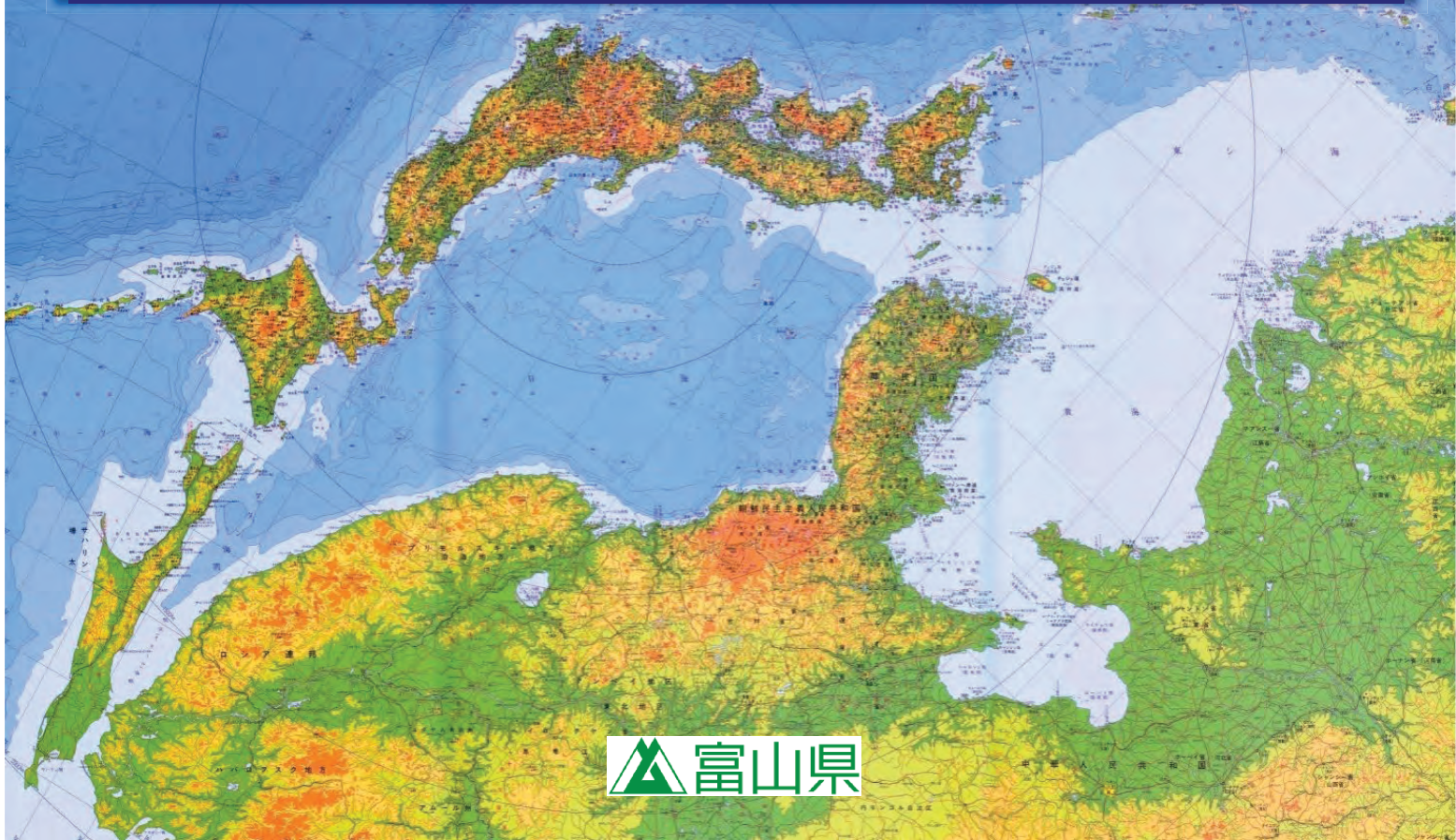
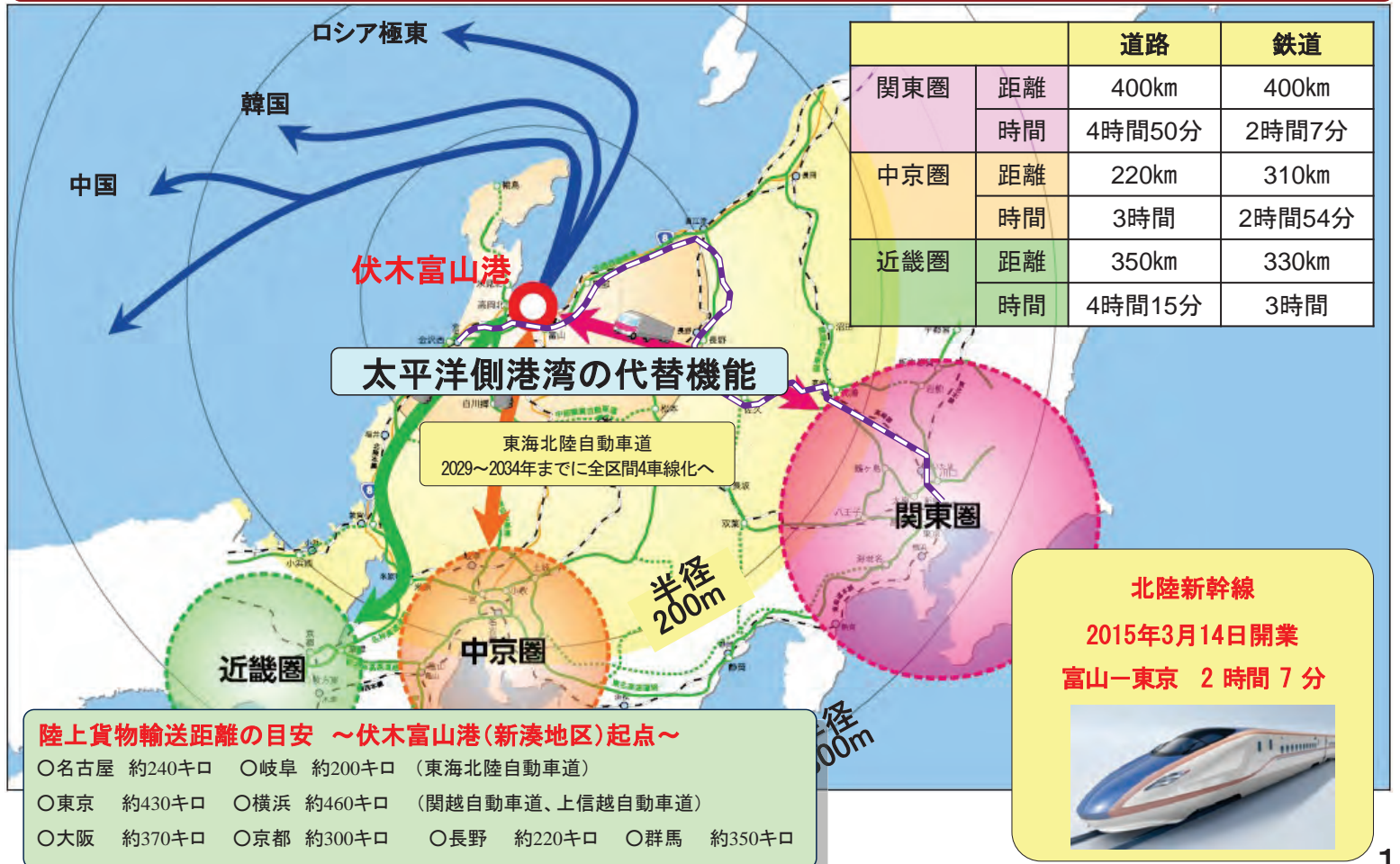




「国際拠点港湾」伏木富山港について



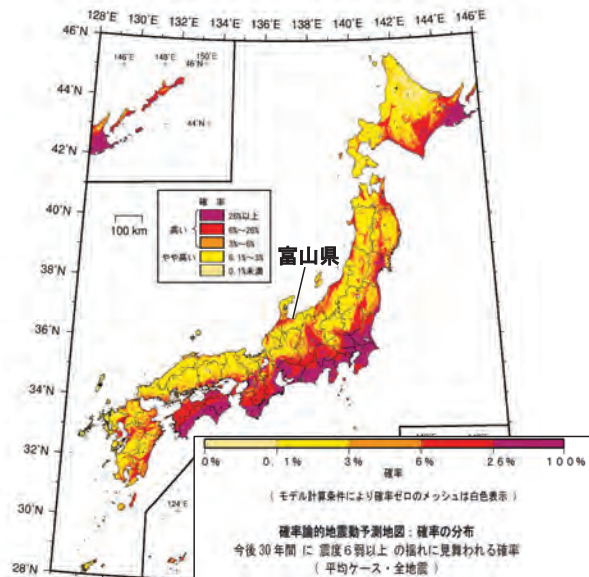
伏木富山港の位置



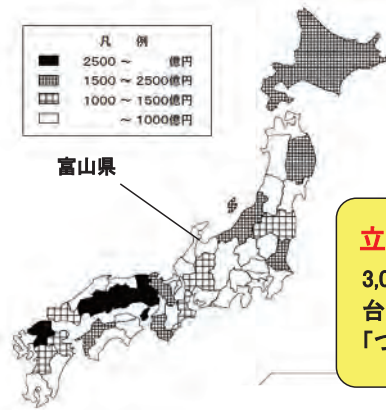
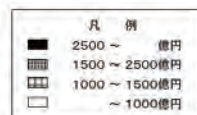
① 地震や津波が少ない

・過去30年間(1990～2019)の震災回数
 震度3以上 28回
 震度4以上 5回

➡ **全国最少**



② 台風が極めて少ない



過去10年間 (2009～2018)
 都道府県別水害被害累積額

立山連峰の「ついで」効果
 3,000m級の立山連峰が、
 台風に伴う強風や大雨をガードする
 「ついで」の役割。

・富山県での**1mを超える津波は**、
 文献で確認できる684年以降、1833年の**1件**(1～2m)のみ。
 ・国が津波の観測を開始(1963年、昭和38年)して以来、
地震による津波被害なし。

1964年6月	新潟地震	M7.5	61cm
1983年5月	日本海中部地震	M7.7	20cm
1993年7月	北海道南西沖地震	M7.8	11cm
2007年3月	能登半島地震	M6.9	6cm
2007年7月	新潟県中越沖地震	M6.8	5cm
2011年3月	東北地方太平洋沖地震	M9.0	9cm

伏木富山港の概要

- 伏木富山港は、本州日本海沿岸の中央部に位置し、その恵まれた地理的条件により、古くから日本海側の重要な港として栄え、昭和61年に特定重要港湾(平成23年度より国際拠点港湾)に指定された。
- 伏木、新湊、富山地区の3地区から形成され、富山県を中心に北陸地方の物流拠点として極めて重要な役割を果たしている。
- 平成23年11月に、「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・国際RORO」、「外航クルーズ(背後観光地クルーズ)」の機能別拠点港として選定され、更にその機能に加え、総合的に機能強化を図り、日本海側港湾をリードする「総合的拠点港」として選定された。



伏木地区

小矢部川の河口港として古くから発達した港であり、背後地には石油配分基地等の工業地帯を形成。平成18年3月には国際物流ターミナルが完成し、大型船舶の入港に対応した物流機能を備える。

【R3年貨物取扱量】109万トン
 【主な取扱貨物】
 輸出：完成自動車、金属くず
 輸入：原塩、木材チップ
 移出：紙・パルプ、砂利・砂
 移入：その他の石油、揮発油

新湊地区

新しい臨海工業地帯の基幹的流通拠点として整備した港であり、外貿コンテナに対応するための国際物流ターミナル等の物流機能に加え、旅客船ターミナルや海王丸パークなどの交流機能を備える。

【R3年貨物取扱量】458万トン
 【主な取扱貨物】
 輸出：完成自動車、紙・パルプ
 輸入：石炭、木材チップ
 移出：その他石油製品、金属鋸
 移入：セメント、鋼材

富山地区

神通川の河口港として古くから発達した港であり、中古車、金属くずや生活を支えるガソリン・灯油等の石油製品などを扱う物流機能に加え、運河を活かした市民の憩いの場としての機能を備える。

【R3年貨物取扱量】102万トン
 【主な取扱貨物】
 輸出：完成自動車、金属くず
 輸入：コークス、化学肥料
 移出：コークス、化学肥料
 移入：重油、その他の石油

日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港

日本海側の「総合的拠点港」(H23年11月選定)

「機能別拠点港」

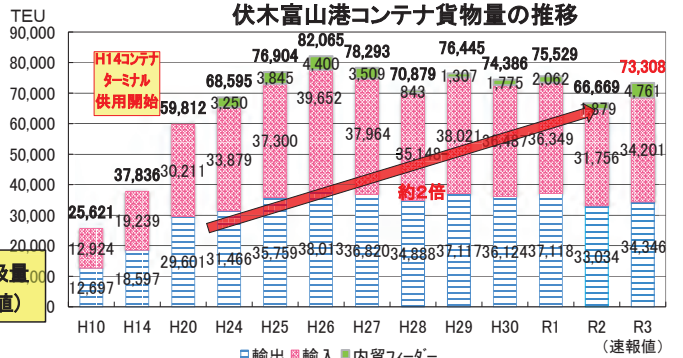
「国際海上コンテナ」

「国際フェリー・国際RORO船」

「外航クルーズ(背後観光地クルーズ)」

博多、北九州、下関、
伏木富山、新潟の 5港

さらなる発展



海上コンテナ

2隻同時接岸同時荷役

新湊地区



RORO船

RORO船への荷役状況

富山地区



外航クルーズ

外航クルーズ客船の寄港

伏木地区



☆外国のクルーズ客船の寄港

- H25. 9月 ボイジャー・オブ・ザ・シーズ 137,276トン
- H26. 4月 ダイヤモンド・プリンセス 115,875トン
- H27. 5月 ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
- H27. 5月 ダイヤモンド・プリンセス
- H29. 4月 ダイヤモンド・プリンセス
- H30. 5月 MSCスプレンドィダ 137,936トン (ほか、国内のクルーズ客船も寄港)

☆定期コンテナ航路が充実

- ・4航路が運航(計 月26便)
- (韓国、中国、中国・韓国、ロシア極東)

○コンテナ取扱個数 (H14→R3)

国際物流ターミナル供用開始以降、
全国平均を上回る約2倍の伸び

伏木富山港 2.0倍 全国 1.5倍

☆ウラジオストク定期便RORO船

平成24年10月就航(全国初)

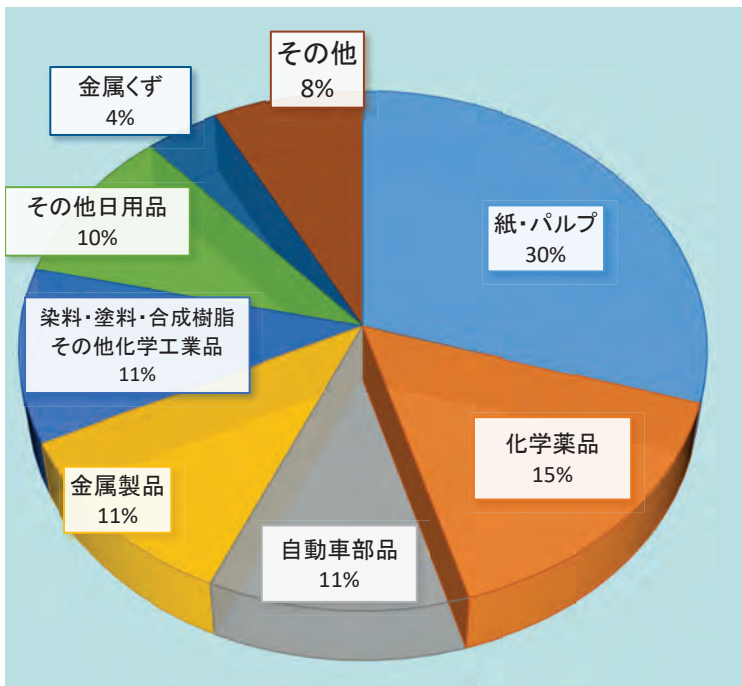
コンテナ航路も合わせ、ウラジオストクには
全国最多の月16便(うちRORO船月14便)

☆可能性を秘めるRORO船

- ・荷役機械が不要・船舶の振動が少ない
- ・荷崩れや荷痛みが少ない(輸送品質の確保)

伏木富山港のコンテナ貨物取扱状況(R3年)

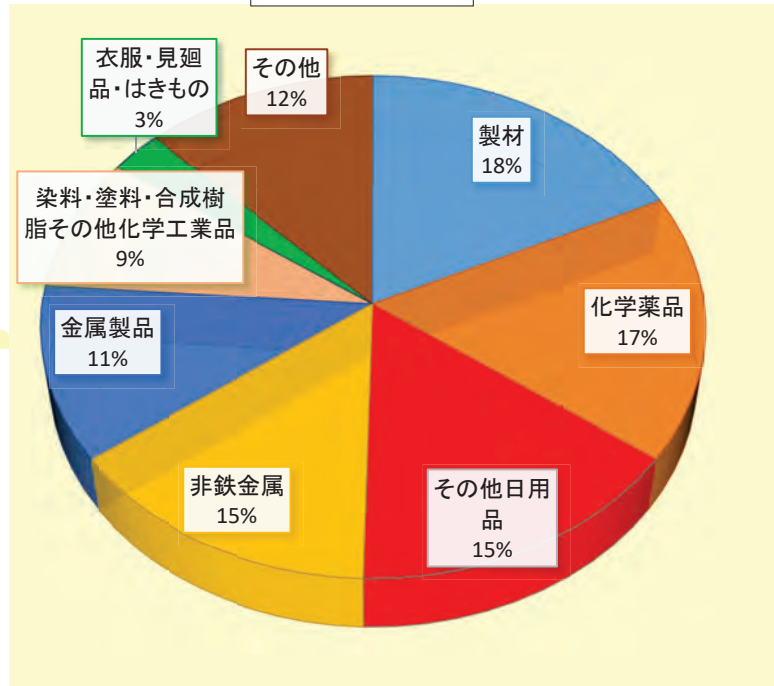
輸出品目



356,425トン

輸入品目

単位:トン



647,679トン

【R3貨物動向】 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、コンテナ貨物は若干減少

- ・輸出では自動車部品、化学薬品、輸入では製材、金属製品が減。一方、紙・パルプの輸出入は増。
- ・コロナ禍で航空輸送が困難なことから、伏木富山港からシベリア鉄道を利用した欧州向け輸送は増。

日本海側の中央に位置する対岸諸国へのゲートウェイ

◆日本海側の総合的拠点港に選定(H23.11月) ◆対岸諸国への定期航路 ◆ロシアRORO船航路が定期運航

韓国航路

寄港地: 釜山
所要日数: 輸出3~4日、輸入3日

中国航路

寄港地: 上海、青島、大連

	輸出	輸入
大連	7	7
青島	8	6
上海	10	4

ロシア極東航路

寄港地: ウラジオストク、ポスターチヌイ
所要日数: 輸出10~12日、輸入2~4日

ロシア極東RORO船航路

寄港地: ウラジオストク

所要時間:

	輸出	輸入
ウラジオストク	30時間	30時間

対岸諸国への所要日数が短い

韓国: 釜山港への輸出入は3~4日。中国: 上海港からの輸入は4日。ロシアへからの輸入は最短2日、RORO船なら30時間。釜山トランシップにより、世界各国との輸出入が可能。

充実した国際物流ターミナル(新湊地区)

新湊地区

- 国際物流ターミナルを有し、外貿コンテナを中心に対岸諸国等の国際物流の拠点
- 背後に多くの工場や発電所等が立地し、石炭、木材チップ、アルミゴット等のバルク貨物の拠点

凡例: エネルギー 製造(工業品)

【鋼材】大谷製鉄(株)
・北陸3県のトップシェア
・鉄筋コンクリート用異形棒鋼など輸出

【セメント】宇部三菱セメント(株)
・セメントを移入

【非鉄金属】三協立山(株)
・海外の工場で製造したアルミ製品やアルミ地金を輸入、アルミ資材等を輸出

【化学薬品】燐化学工業(株)
・赤リン系難燃剤の国内シェア8割
・原料となる黄リンを輸入、金属の研磨剤、飲料の酸味料などに使用されるリン酸を製造して輸出

【鋼材】日本高周波鋼業(株)
・特殊鋼、特殊合金の製造加工
・レンガ、合金鉄等を輸入、ベアリング等を輸出

北陸電力(株)富山新港火力発電所
【石炭・LNG】
・石油と石炭を燃料とし、全4基を合わせた総出力は150万kWと北陸電力管内で最大出力の火力発電所
・平成30年11月からLNG1を燃料とする発電を開始

臨港道路富山新港東西線(新湊大橋)

1バース(280m)耐震強化岸壁整備済

整備済 L=333m(水深12m)

延伸L=75m R1年8月供用

2.5ha拡張

【H30年4月供用開始】
コンテナヤード拡張10.6ha→12.8ha(現在は13.1ha)
計画取扱量 83,000TEU→115,000TEU/年

国際物流ターミナルの整備
コンテナヤードの拡張による港湾機能の強化を図り、増加するコンテナ貨物に対応

船舶大型化への対応
・コンテナ船、バルク船の大型化に資する港湾機能の強化

国際物流ターミナルL=408m(-12m)

旅客船ターミナル

旅客船ターミナル

Colins: H304 運用開始 ※H31.4.1~NEAL-NET 提供港に追加

【R1年8月供用開始】
岸壁75m延伸、総延長408m(-12m)
1.2万トンの級(1,000TEU級)のコンテナ船の2隻同時接岸・同時荷役が可能に!

コンテナヤードにおける充実した荷役サービス体制

ゲート(3レーン)

**オンデマンドによる
24時間の荷役体制**

**スピーディーで
効率的な荷役環境**
効率的なコンテナターミナル
ガントリークレーン2機、
RTG(トランスファークレーン)4機体制

トランスファークレーン 4基

**作業しやすい
コンテナターミナル**

**多彩な
輸出梱包**

リーファーコンテナヤード

リーファープラグ

国際物流ターミナル

**2.5ha
拡張!**

施設機能の充実
2隻コンテナ船同時接岸可能
複数のリーファープラグ
くん蒸上屋を完備、
温度・湿度管理も万全

くん蒸上屋

既設岸壁(L=333m) 岸壁延伸(L=75m)
R1.8供用開始

ガントリークレーン 2基
(うち1基を更新中)

SLBの取組み～伏木富山港を「環日本海・アジア交流の拠点」に～



◆ロシアRORO船航路が定期運航 (2012年10月)
⇒コンテナ航路、RORO船航路を合わせ全国最多の定期航路

ロシア極東コンテナ航路 (月2便)
寄港地: ポストーチヌイ→ウラジオストク
所要日数: 輸出約10日、輸入2～4日

富山 (富山県海外販路開拓サポートデスク)
ウラジオストク (富山県ロシア極東ビジネスサポートデスク)
大連 (富山県大連事務所)

韓国航路
中国・韓国航路

ロシア極東RORO船航路 (月13便)
寄港地: ウラジオストク

所要時間:	ウラジオストク	輸出	輸入
		30時間	30時間

伏木富山港 ロシア極東航路コンテナ貨物量

年	2003	2006	2009	2012	2013	2014	2015	2018	2019	2020	2021
貨物量 (TEU)	296	412	918	929	1,760	3,150	2,548	1,523	1,497	1,685	3,822

18年で約13倍に

海上輸送とクルーズの拠点(伏木地区)



- ・船舶の大型化への対応を図るため、外港への機能移転を展開中。(令和4年度中に移転完了見込み)
- ・12m水深の耐震強化岸壁が整備済みであり、大規模地震の発生時にも継続的な物流機能を確保。
- ・バイオマス発電所の稼働や石油製品の外港移転を予定するなど、エネルギー産業の集積が進む。

【木材チップ】 中越パルプ工業(株)
 ・上質紙、新聞用紙、出版用紙等の製造販売
 ・石炭、チップ、オイルコークス、カオリン等を輸入

【非鉄金属】 JFEマテリアル(株)
 ・日本で唯一のクロム系合金鉄メーカー
 ・原料となるクロム鉱石を輸入、航空機用部品などで使用される高純度金属クロム等を製造し、輸出

【化学工業品】 東亜合成(株)
 ・瞬間接着剤アロンアルファは国内シェア8割
 ・製品(接着剤)を輸出

【石油】
 出光石油(株)
 JXTG(株)
 ・石油、灯油、軽油、重油を移入

【木質ペレット】 伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社
 ・バイオマス発電所がR4年5月から営業運転開始
 木質ペレットの輸入増加

新たな資源エネルギーの拠点形成
 ・エネルギー産業の集積
 ・新たな資源エネルギー受入基地の検討

クルーズ需要への対応
 ・大型クルーズ船(22万トン級)が寄港可能だが、寄港実績少
 ⇒新たなクルーズ需要の掘り起こし

外港展開
 ・内航維持浚渫からの脱却
 ・船舶の大型化への対応

1バース(280m)耐震強化岸壁整備済

クルーズ船(MSCスプレンドイダ)

近海郵船によるRORO船 季節運航

H25.12 中東向けの小型バス輸送

自動車専用船(ヘラクレス・リーダー)

防波堤(北)

凡例: エネルギー 製造(工業品) 製造(製紙) 製造(化学工業品)

伏木外港展開(伏木港万葉ふ頭バイオマス発電所)



- 伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社が万葉ふ頭においてバイオマス発電事業(発電出力:5.15万kW)を計画
- 平成30年3月の地方港湾審議会において、港湾計画の軽易な変更により港湾関連用地から工業用地に土地利用計画を変更
- バイオマス発電の燃料として、木質ペレットを年間約20万トン輸入する計画であり、万葉3号岸壁(-14m、暫定-12m)を利用
- 令和4年7月から営業運転を開始しており、伏木地区における新たな資源エネルギーの拠点形成が期待される

バイオマス発電所

万葉3号岸壁

(-14(暫定-12m)、L=280m)

木質ペレット約20万トン
 万葉3号岸壁で荷揚予定

発電所

国土交通省北陸地方整備局提供

発電所 位置図

※資料提供:ECSJ(株)

対ロシア物流の拠点(富山地区)



- ガソリン等の石油製品等を取り扱っており、市民の生活を支えている。
- 富岩運河を中心とした親水空間が形成され、市民の憩いの場として利用されている。
- ロシア向けの中古車などを取り扱っており、現在耐震強化岸壁を整備中。

富岩運河

岩瀬の古い町並

中島閘門

富岩運河環水公園

【合成樹脂】 三菱ケミカル(株)
 ・高級婦人服他に使用されるトリアセート長繊維世界オンリーワン
 ・石油コークスを輸入、アクリル樹脂を輸出

【産業機械】 新日本海重工業(株)
 ・1万5千トンドック所有

耐震強化岸壁(水深10m) 整備中

【その他石油】
 北陸電力(株)富山火力発電所
 ・揮発油、その他石油を移入

中古自動車

石油の荷役

【重油】 日本海石油(株)
 ・平成21年石油精製機能停止
 現在は新日石の北陸地区顧客に対する
 重油等石油製品供給中継地として稼働
 ・重油を移入

凡例: エネルギー 製造(工業品)